

2024年度入学生まで

中学校教諭一種免許状（保健体育）に係る授業科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28	○水泳	1	2
			○武道（柔道）	1	2
	○体づくり運動		1	2	
	○陸上競技		1	2	
	○ダンス		1	2	
	○器械運動		1	3	
	○球技（サッカー）		1	3	
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	※体育原理	2	2	
		※スポーツ心理学	2	2	
		※スポーツ経営管理論	2	2	
		※スポーツ社会学	2	3	
		※スポーツ文化史	2	2	
		○運動方法学	2	2	
	生理学（運動生理学を含む。）	○運動生理学	2	2	
	衛生学・公衆衛生学	○公衆衛生学	2	2	
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	○学校保健	2	2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○保健体育科教育法Ⅰ	2	2	
○保健体育科教育法Ⅱ		2	3		
○保健体育科教育法Ⅲ		2	3		
○保健体育科教育法Ⅳ		2	4		

<備考> 1. ○は本学教職課程必修科目

2. ※の5科目より2科目を選択必修

3. 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、※の5科目についても必修

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職入門（教師論）	2	1			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育社会学	2	1			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2	3			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育総論	2	1			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程と方法	2	2			
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	○道徳教育	2	1			
	総合的な学習の時間の指導法		○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2			
	特別活動の指導法		○教育方法論	2	2			
	教育の方法及び技術			○情報通信技術の活用	1	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				○生徒指導	2	3	
	生徒指導の理論及び方法					○教育相談	2	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						○進路指導	2
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	3						
教育実習に関する実践科目	教育実習	5	○事前事後指導	2	3・4			
			○教育実習Ⅱ	4	4			
	教職実践演習	2	○教職実践演習（中・高）	2	4			

<備考>○は本学教職課程必修科目

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
大学が独自に設定する科目	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	4	1～4

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○子どもスポーツ論	2	2
外国語コミュニケーション	2	○英語 I	2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	○情報処理基礎 I	2	1

<備考>○は本学教職課程必修科目

高等学校教諭一種免許状（保健体育）に係る授業科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	○水泳	1	2
			○武道（柔道）	1	2
			○体づくり運動	1	2
			○陸上競技	1	2
			○ダンス	1	2
			○器械運動	1	3
			○球技（サッカー）	1	3
			○球技（テニス）	1	3
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	○体育原理	2	2	
		○スポーツ心理学	2	2	
生理学（運動生理学を含む。）	○スポーツ経営管理論	2	2		
	○スポーツ社会学	2	3		
衛生学・公衆衛生学	○スポーツ文化史	2	2		
	○運動方法学	2	2		
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	○運動生理学	2	2		
	○公衆衛生学	2	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○学校保健	2	2		
	○保健体育科教育法Ⅰ	2	2		
	○保健体育科教育法Ⅱ	2	3		
	○保健体育科教育法Ⅲ	2	3		
			○保健体育科教育法Ⅳ	2	4

<備考>○は本学教職課程必修科目

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職入門（教師論）	2	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育社会学	2	1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2	3
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育総論	2	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程と方法	2	2
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術		○教育方法論	2	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○情報通信技術の活用	1	3
	生徒指導の理論及び方法		○生徒指導	2	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談	2	3
関する実践科目	教育実習	3	○事前事後指導	2	3・4
			○教育実習Ⅰ	2	4
			○教育実習Ⅱ	4	4
	教職実践演習		2	4	

<備考> 1. ○は本学教職課程必修科目

2. 教育実習について、高等学校教諭一種免許状のみを取得しようとする者は「教育実習Ⅰ」を履修、
 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は「教育実習Ⅱ」を履修

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
大学が独自に設定する科目	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	12	1～4

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○子どもスポーツ論	2	2
外国語コミュニケーション	2	○英語 I	2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	○情報処理基礎 I	2	1

<備考>○は本学教職課程必修科目

中学校教諭一種免許状（保健体育）に係る授業科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28	○体づくり運動	1	2
			○ダンス	1	2
			○武道（柔道）	1	2
			※1球技（サッカー）	1	2
			※1球技（ハンドボール）	1	2
			○球技（ソフトボール）	1	2
			○水泳	1	3
			○陸上競技	1	3
			○器械運動	1	3
			※2球技（テニス）	1	3
※2球技（バドミントン）	1	3			
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	※3体育原理	2	2		
	※3スポーツ心理学	2	2		
	※3スポーツ経営管理論	2	2		
	※3スポーツ社会学	2	3		
	※3体育・スポーツ史	2	2		
○運動方法学	2	2			
生理学（運動生理学を含む。）	○運動生理学	2	2		
衛生学・公衆衛生学	○公衆衛生学	2	2		
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	○学校保健	2	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○保健体育科教育法Ⅰ	2	2		
	○保健体育科教育法Ⅱ	2	3		
	○保健体育科教育法Ⅲ	2	3		
	○保健体育科教育法Ⅳ	2	4		

<備考> 1. ○は本学教職課程必修科目

2. ※1の2科目より1科目を選択必修

3. ※2の2科目より1科目を選択必修

4. ※3の5科目より2科目を選択必修

5. 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、※3の5科目についても必修

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職入門（教師論）	2	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育社会学	2	1		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2	3		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育総論	2	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程と方法	2	2		
道徳、総合的及びな学習の指導時間等	道徳の理論及び指導法	10	○道徳教育	2	1		
	総合的な学習の時間の指導法		○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2		
	特別活動の指導法		○教育方法論	2	2		
	教育の方法及び技術			○情報通信技術の活用	1	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				○生徒指導	2	3
	生徒指導の理論及び方法			○教育相談		2	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					○進路指導	2
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
関する実践科目	教育実習	5	○事前事後指導	2	3・4		
			○教育実習Ⅱ	4	4		
	教職実践演習		2	○教職実践演習（中・高）	2	4	

<備考>○は本学教職課程必修科目

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
大学が独自に設定する科目	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	4	1～4

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○運動と健康	2	1
外国語コミュニケーション	2	○英語 I	2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	○情報処理基礎 I	2	1

<備考>○は本学教職課程必修科目

高等学校教諭一種免許状（保健体育）に係る授業科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	○体づくり運動	1	2
			○ダンス	1	2
			○武道（柔道）	1	2
			※1球技（サッカー）	1	2
			※1球技（ハンドボール）	1	2
			○球技（ソフトボール）	1	2
			○水泳	1	3
			○陸上競技	1	3
			○器械運動	1	3
			※2球技（テニス）	1	3
※2球技（バドミントン）	1	3			
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		○体育原理	2	2
			○スポーツ心理学	2	2
			○スポーツ経営管理論	2	2
			○スポーツ社会学	2	3
			○体育・スポーツ史	2	2
			○運動方法学	2	2
	生理学（運動生理学を含む。）		○運動生理学	2	2
	衛生学・公衆衛生学		○公衆衛生学	2	2
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		○学校保健	2	2
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		○保健体育科教育法Ⅰ	2	2
			○保健体育科教育法Ⅱ	2	3
			○保健体育科教育法Ⅲ	2	3
			○保健体育科教育法Ⅳ	2	4

<備考> 1. ○は本学教職課程必修科目

2. ※1の2科目より1科目を選択必修

3. ※2の2科目より1科目を選択必修

② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	履修年次
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	2	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職入門（教師論）	2	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育社会学	2	1
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2	3
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育総論	2	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程と方法	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	2
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術		○教育方法論	2	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○情報通信技術の活用	1	2
	生徒指導の理論及び方法		○生徒指導	2	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談	2	3
教育実践に関する科目	教育実習	3	○事前事後指導	2	3・4
			○教育実習Ⅰ	2	4
			○教育実習Ⅱ	4	4
	教職実践演習	2	○教職実践演習（中・高）	2	4

<備考> 1. ○は本学教職課程必修科目

2. 教育実習について、高等学校教諭一種免許状のみを取得しようとする者は「教育実習Ⅰ」を履修、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を取得しようとする者は「教育実習Ⅱ」を履修

③ 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
大学が独自に設定する科目	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」	12	1～4

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	履修年次
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツA	1	1
		○運動と健康	2	1
外国語コミュニケーション	2	○英語 I	2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	○情報処理基礎 I	2	1

<備考>○は本学教職課程必修科目